

ドイツ語における色彩語の意味とグリムメルヒェン (第1報)

満足 忍

Bedeutungen der deutschen Farbenwörter und Grimms Märchen (1)

Shinobu Manzoku

はじめに

現在、我々が一般に手にしているグリムメルヒェン(以下 KHM と略す)は 1857 年(第 I 巻・第 II 巻)に刊行された第 7 版(決定版)であり、1812 年(第 I 巻)と 1815 年(第 II 巻)刊行の初版以来、45 年間にわたり、特にグリム兄弟の弟ウィルヘルム・グリムによって再三の改訂がなされてきた。7 回の改版を通して、構成面でも文体面でも話の形態は初版に比べると大幅に改良が加えられて現在の KHM の姿に至っている。

文学者であると共に言語学者でもあり民俗学者でもあるウィルヘルム・グリムは、改版の度にドイツ語における限られた色彩語を文学的な見地から、あるいは民俗学的な見地からメルヒェン形態にとって最適かつ明瞭に描写することを念頭に改訂作業を進め、メルヒェンの文学的価値を高めていった。このため、初版から削除されたものもあれば、逆に追加されたものも多く見受けられ、色彩語の使用法や例数においても大きな変遷が見受けられる。

本稿の第 1 報ならびに次号に掲載予定の第 2 報では KHM 決定版に従って色彩語を分類してその例数を挙げ、また、決定版の日本語訳と同原文でも例数は一致していないので、原文を

テキストに用いて報告することにする。

まず本稿では、ドイツ語において色名がどのような意味を有しているかを紹介した上で、KHM における色彩語の色彩別分類と項目別分類、ならびに色彩語の持つ意味と語法を解説して紹介する。

なお、KHM における個々の話に見られる色彩語の表現の分類は、本誌前号 37 号(2009)に『グリムメルヒェンにおける色彩語の表現(1) 第 I 巻(KHM 1~86)』ならびに『グリムメルヒェンにおける色彩語の表現(2) 第 II 巻(KHM 87~200)』と題して報告済みである。

KHM における色彩語の分類

KHM 全 210 話に内、第 II 巻の最後に付加されている『子供の聖者伝説』の 10 話を除く 200 話の中の色彩語を抽出してみると、色彩語が使われているのは 124 話であり、使用されていないのは 76 話である。このことから、色彩語が KHM では大変好まれていることが分る。使用されている色彩語はほとんどの場合、だれにでも理解しやすい、明確な色合いを持つものであり、その種類は 11 種、例数は 368 にも及んでいる(同一の話の中で重複して使用されている場合は例数に含めていない)。なお、本稿では、KHM の原文に基づいて分類しているが、日本

語訳に見られる色彩語の例数は原文における例数とは必ずしも一致していない。その理由としては、両言語のニュアンスの違いを埋めるための訳者の配慮によるものであると考えられる。

下記に示す色彩語別の例数からも分るとおり、白色、赤色、金色、黒色が KHM では極めて多く愛用されている。特に、白色と赤色と黒色は互いに対になる色であり、加えて金色も富や貴重なものの象徴である。これらの色が KHM において多く使われているのは、KHM の技法の特徴である善と悪、美と醜、富と貧困などの対比を単純かつ明確に示すための「極性」によるものであると推察する。なお、金色と銀色は金属を例えとした色であることから、色彩語の分類に加えることに異論もあり得るが、KHM で大変好まれて使われているので、分類の最後に付加して第 2 報で報告する。

白色：88 例 赤色：76 例 金色：55 例
 黒色：51 例 緑色：37 例 灰色：18 例
 青色：16 例 銀色：10 例 黄色：9 例
 茶色：7 例 紫色：1 例

また、上記の KHM 123 話中、1 つの話の中で使用されている色彩語の数の分類は次のとおりである。

1 色：55 話 2 色：34 話 3 色：15 話
 4 色：7 話 5 色：5 話 6 色：5 話
 7 色：1 話 8 色：0 話 9 色：1 話

さらにこれらの色彩語の形態別分類は次のとおりである。

付加語的な形容詞として：246 例
 述語的な形容詞として：59 例
 名詞として：26 例
 名詞との合成語として：10 例
 副詞として：16 例
 動詞として：4 例

上記の形態別分類から分るように、ほとんどの色彩語は付加語的な形容詞として用いられている。しかしこの内の 3 例は、日本でもお馴染

みの詩『野ばら』に見られる歌詞 Röslein Röslein Röslein *rot* や『ちょうちょ』の歌詞 Hänschen *klein* ging allein のように、雅語として好まれている無変化の用法が KHM に挿入されている歌詞の中でも見られる (KHM 69: mit dem Ringlein *rot*; KHM69・KHM129: Jungfer *grün*)。動詞として用いられる例は 4 例のみで極めて少ないことが分る (KHM 16: *röten*; KHM 44: *sich röten*; KHM 122: *sich bräunen*; KHM 136: *vergolden*)。

1. 赤色 (Rot, rot)

赤色は血 (blutrot; rot wie Blut; Rotwurst)、太陽 (太陽神)、心臓 (トランプのハート = Rote Karte)、愛情 (er schenkt ihr einen Strauß roter Rose als Zeichen seiner Liebe) の色であり、生命・成熟の色 (die Erdbeeren begannen sich zu röten) でもある。生命力は同時に生殖力とも結びつく。また民俗的には、しばしば炎 (feuerrot; rot wie Feuer; rotglühend; rote Kohle) を表している。キリスト教 (ミサ服) や世界の宗教的儀式や風習において赤色は歓喜・感動の色であり、司祭たちの服の色である。赤色の持つ象徴的価値と自然的照度によって災いから回避する色 (赤十字 = Rotes Kreuz) ともみなされている。生命の色とされ、病気を治すとされている。例えば、類似魔法では、丹毒 (Rotlauf)、疫病 (Antoniusfeuer)、紅斑 (Rose) の病気は同じ赤色の薬で治ると伝えられている。先史的あるいは原始的観点から赤色が、美や災い回避の強い魔法、邪気払いと同一視された一方で、最近では危険の感覚 (赤字 = rote Zahlen; レッドリスト = Rote Liste) や悪い感覚 (rot vor Zorn; vor Scham einen roten Kopf bekommen) が生じている。赤い頬の子供は元気で行動的 (gesunde rote Kinder) な象徴である。一方、赤には生命力、感情の高まりや情熱的な感覚も含まれていることから、

急進主義を象徴する色 (Rote Garde) となり、今日では共産主義や社会主義の象徴となっているのが一般的である。ヨーロッパに伝わるメルヒェンや伝説には、赤色は地獄の光・炎の色として、また、黒色と同様に悪魔の色として使われ、悪魔は赤い上着、赤い帽子を身に着けている。赤い目、赤毛は魔女の特徴とされている。狐や馬や鹿の毛色を表す際に、赤茶色(栗毛色=blaurot)の代わりに用いられることも多い(Rotfuchs; Rothirsche)。また、赤い髪(rot-haarig)や赤いひげ(Rotbart)が美しさを表している場合もある。

KHMにおける赤色の主な特徴を幾つか紹介する。赤色は血の色として多く用いられ、「血のように赤い」という表現が7例、「赤い血」が6例ある。また、目の色として7例あり、特に人を威嚇する赤い目は魔女や老婆の象徴であり4例、小人が威嚇する赤い目が1例ある。血色の良い健康的で元気な顔色としては7例、心的変化による怒りや恥じらいの顔色として5例あり、その内の2例では「鶏冠のように赤い」という独特な形容がされている。その他では、ほのかな紅色の顔の様を「リンゴの花のように赤い」「コケバラのような赤い」「ルビーのように」[KHMにおける赤色]

身体=黒い男、緑の男、血のように赤い男 KHM 43: danach sah ich einen *blutroten* Mann

身体(子供)=血のように赤く雪のように白い男の子 KHM 47: so *rot* wie Blut so *weiß* wie Schnee

身体(子供)=雪のように白く血のように赤く黒檀のように黒い子供 KHM 53: so *weiß* wie Schnee, so *rot* wie Blut, und so schwarz wie das Holz an dem Rahmen

身体の一部(目)=赤い絹色のように泣きはらした目 KHM 38: sie weint ihre *Äuglein seidenrot*

身体の一部(目)=疲労した仕立屋の蒼白な頬と赤い目 KHM 107: die Backen waren ihm *weiß* und die Augen *rot*

身体の一部(目・老婆)=魔女の赤い目 KHM 15: die Hexen haben *rote* Augen

身体の一部(目・老婆)=魔女の赤い目 KHM 22: sah mit ihren *roten* Augen die Fremden an

身体の一部(目・老婆)=魔女の黄色い顔と大きな赤い目に曲がり鼻 KHM 69: große *rote* Augen, *krumme* Nase

身体の一部(目・老婆)=茶色い顔に赤い目をした老婆 KHM 193: eine Alte mit braunem Gesicht

赤い」という表現が各1例、「絹のように赤い」泣きはらした目、「雷雨のように赤い」空が各1例ある。一方、「雪のように白く血のように赤い」子供を望む表現は、視覚的というよりもむしろ抽象的意味合いが強く、活動的で情熱的な女性の象徴を表現したものと考えられる。また、「赤い靴」などの物はそれが女性の持ち物であること、あるいはいずれ女性に与えられる物であることを暗示する場合が多い。3例では「バラ紅」「赤靴下ちゃん」「赤頭巾」(Rosenrot; Rotstürmpfchen; Rotkäppchen)と、女の子の名前にも付加されている。祝い事に関連する「赤い布」「赤い服」「赤ワイン」には7例ある。動物に用いられているのは12例、特に赤毛の狐は7例登場している(内2例は馬を指す)。赤い果物はリンゴ5例以外には見当たらない。民俗的に好まれている「炎のように赤い」と形容した表現は *die rotglühenden Schuhe* (KHM 53) と *rote feurige Augen* (KHM 161) の2例しかないのは意外ではあるが、その理由としては、燃え滾る(*glühend*) 6例、灼熱(*Glut*) 2例の表現が赤色に優先して用いられているためであると考えられる。

赤色の表現を項目別に分類して以下に示す。

und *roten* Augen

身体の一部 (目・小人) = 火のように赤い目で威嚇する小人 KHM 161 : glotzte die Mädchen mit seinen *roten* feurigen Augen an

身体の一部 (頬) = 赤いふっくらとした頬で眠る兄妹 KHM 15 : mit den vollen *roten* Backen

身体の一部 (頬) = 死んだ姫の赤みがさす頬 KHM 44 : alsbald *röten* sich ihre Wangen

身体の一部 (頬) = 死んだ白雪姫の美しい赤い頬 KHM 53 : hatte noch seine schönen *roten* Backen

身体の一部 (頬) = 悲しみに赤みが消える子供の頬 KHM 105 : verlor es seine *roten* Backen

身体の一部 (頬) = 仕立屋の愛嬌のある赤い頬 KHM 107 : weil es so hübsche *rote* Backen hatte

身体の一部 (顔・死体) = 赤みが戻る死人の顔 KHM 16 : das Blut stieg in das bleiche Angesicht und *röten* es wieder

身体の一部 (顔・小人) = 怒りで灰のような灰色から朱色に変わる小人の顔 KHM 161 : sein aschgraues Gesicht ward *zinnoberrot* vor Zorn

身体の一部 (顔) = 鶏冠のような赤い顔の男 KHM 52 : der fünfte zu *rot* 'der Zinshahn!'

身体の一部 (顔) = 鶏冠のような赤い顔の若者 KHM 179 : so *rot* im Gesicht wie ein Zinshahn

身体の一部 (顔) = 雪のように白くリンゴの花のように赤い顔の姫 KHM 179 : sie war so *rot* wie Apfelblüte

身体の一部 (顔) = 姫のコケバラのような恥じらんだ赤い顔 KHM 179 : so *rot* im Gesicht wie eine Moosrose

身体の一部 (顔) = 恥じらいで赤らめた娘の顔 KHM 188 : ward es über und über *rot*

身体の一部 (髪) = 男性用礼服の茶と赤のような髪色 KHM 114 : so ists braun und *rot*, wie meines Herrn Vaters Bratenrock

身体の一部 (髪) = 呪いのため灰のように灰色の曇った目と赤い髪をした姫 KHM 197 : trübe Augen und *rote* Haare

身体の一部 (筋) = 縫い針がつける顔の赤い筋 KHM 10 : machte ihm einen *roten* Strich

身体の一部 (筋) = 首の周りに残った赤い筋 KHM 126 : einen *roten* Faden um den Hals

身体の一部 (筋) = 雛の首の周りに残った縫合の跡の赤い筋 KHM 129 : ein *rotes* Streifchen um den Hals

身体の一部 (星・男児) = 真赤な星を額に付けて生まれた男児 KHM 96 : einen frischen *roten* Stern

血 = 殺害の赤い血 KHM 9 : soll sein *rotes* Blut fließen

血 = 白い靴下に滲む真赤な血 KHM 21 : wie das Blut an den weißen Strümpfen ganz *rot* heraufgestigen war

血 = 赤い血のしみのついた卵 KHM 46 : an den *roten* Flecken

血 = 白い雪に落ちる赤い血 KHM 53 : weil das *Rote* im weißen Schnee so schön aussah

血 = 流れ出る赤い血 KHM 60 : er sah sein *rotes* Blut fließen

血 = 道案内する 1 滴の赤い血, 1 枚の白い羽 KHM 88 : will ich einen *roten* Blutstropfen und eine weiße Feder fallen lassen

- 動物 (狐) = 赤狐の住処 KHM 36 : in dem Haus des *Roten*
- 動物 (狐) = 赤いズボンの狐 (赤狐) KHM 38 : hat der Herr *rote* Höslein an
- 動物 (狐) = 赤狐 KHM 60 : der *Rotfuchs* wußte die Schliche besser
- 動物 (狐) = 赤狐 KHM 73 : *Rotfuchs*, schaff mir was zu fressen
- 動物 (狐) = 赤い花飾りのような狐の尾 KHM 102 : der Schwanz sieht fast wie ein *roter* Federbusch
- 動物 (馬) = 赤狐色の馬 KHM 6 : wird ihm ein *fuchsrotes* Pferd entgegenspringen
- 動物 (馬) = 血のように赤い狐 (馬) に引かれた馬車 KHM 120 : mit vier *blutroten* Füchsen bespannt
- 動物 (馬と馬車) = 4頭の白い・赤い・黒い牝馬と馬車 KHM 93 : mit vier *roten* (Hengsten)
- 動物 (牛) = 赤い牝牛 KHM 158 : eine *rote* Kuh schoß das Brot in den Ofen
- 鳥 (鶏冠) = 赤い鶏冠 KHM 27 : du *Rotkopf*
- 鳥 (鶏冠) = ルビーのような赤い冠の雄鶏 KHM 70 : es hat eine *rubinrote* Krone auf dem Kopf
- 鳥の首輪 = 赤い小さな首輪をした小鳥 KHM 69 : mein Vöglein mit dem Ringlein *rot*
- 羽 = 赤と緑の羽に金色の首をした小鳥 KHM 47 : hat recht *rote* und grüne Federn
- 羽 = 悪魔の赤い羽 KHM 195 : Herr mit der *roten* Feder
- 花 = 血のように赤い花 KHM 69 : er fände eine *blutrote* Blume
- 花 (バラ) = 雪白の名の子, バラ紅の名の子 KHM 161 : das andere hieß *Rosenrot*
- 花 (バラ) = 庭に咲く白いバラ, 庭に咲く赤いバラ KHM 161 : davon trug das andere *rote* Rosen
- リング = 赤いリングの中に落ちる男の子の頭 KHM 47 : über die *roten* Äpfel
- リング = 片側が赤く片側が白い頬をしたリング KHM 53 : daß der *rote* Backen allein vergiftet war
- リング = 血のように赤いリング KHM 91 : da wurden die Äpfel so *rot* wie Blut
- リング = 命の木の赤いリング KHM 121 : die *roten* Äpfel leuchteten an den Ästen
- リング = 赤い頬のリング KHM 165 : voll von den schönen Äpfel mit *roter* Backe
- 布 (旗) = 女兒の誕生を知らせる赤い (血の) 旗 KHM 9 : eine *rote* Fahne ; die *rote* Blutfahne
- 布 = 祝いの赤い布 KHM 60 : mit *rotem* Scharlach zur Freude ausgehängt
- 布 = 階段に敷かれた赤い布 KHM 186 : mit *rotem* Tuch belegt
- 服 = 赤い服で踊る妖精たち KHM 175 : tanzten in ihren *roten* Röckchen
- 靴下 = 赤い靴下の妹 (赤靴下ちゃん) KHM 105 : hast du *Rotstürmpfchen* nicht gesehen?
- キャップ = 少女の赤いピロードのキャップ (赤頭巾) KHM 26 : ein Käppchen von *rotem* Sammet ; hieß es nur das *Rotkäppchen*
- 絹 = 花嫁の赤い絹 KHM 80 : laß *rote* Seide geben
- 布団 = 緑の絹地に金の花, 赤いピロードの布団 KHM 169 : die Decke darauf von *rotem* Samt
- 靴 = 小鳥が与える赤い靴 KHM 47 : trug den *roten* Schuh an ; hat ein Paar *rote* Schuhe geschenkt
- 靴 = 后が履く赤く焼けた靴 KHM 53 : mußte sie in die *rotglühenden* Schuhe treten
- 靴 = 料理女の赤い踵の靴 KHM 77 : Schuhe mit *roten* Absätzen

ワイン＝出産祝いの赤いワイン KHM 2: von dem süßen roten Kindbitterwein

ワイン＝赤いワインで満たされたグラス KHM 36: ein großes Glas mit rotem Wein leuchtete

ワイン＝白と赤と黄色のワイン KHM 40: ein Glas roten Wein

空＝中央は青いが両端がひどい雷雨のように赤い空 KHM 19: recht so rot wie ein Gewitter

火＝炉の中の赤い火 KHM 147: schob in die Esse, mitten ins rote Feuer

車輪＝赤い車輪の素敵な車 KHM 41: der vier rote Räder hatte

鎧兜＝赤い鎧兜 KHM 136: sollst auch eine rote Rüstung dazu haben

レンガ＝赤レンガの家 KHM 87: ein neues reinliches Haus mit roten Ziegeln

砂岩＝赤い砂岩 KHM 178: vermauern sie wieder den roten Sandstein

2. 黒色 (Schwarz, schwarz)

黒色は、光をほぼ完全に吸収する色であり、最も暗い色味を持たない色調である。深い夜や暗闇の色であり、炭・墨の色であり、瀝青・ピッチの色でもある (kohlschwarz; pechschwarz; rabenschwarz; tiefschwarz)。黒色は白色 (weiß) と対立するだけでなく赤色とも対立する面を持ち、白色との対立関係の中で、邪悪なものや醜いものに結びつけられる傾向にあり、不気味な力強さを連想させる。黒色は生理的・心理的効果によって、おそらく歴史的利用によって一般的に死と哀悼のイメージを持ち (einen schwarzen Schleier tragen; sich schwarz kleiden), また、秘密や疑いに満ちていること、禁じられたこと (Schwarzekunst = Zauberkunst; durch eine schwarze Brille sehen; schwarzfahren; Schwarzarbeit; schwarzer Markt) や悪事 (eine schwarze Tat; schwarze Gedanken haben; eine schwarze Seele), 不吉や災い (einen schwarzen Tag haben), それも死を暗示したり象徴する場合に用いられている。一方、視覚的には黒色は、非常に汚れた状態 (sehr schmutzig) や闇のように暗い (finster) や炭のような状態 (verkohlt; verbrannt) を表している。

多くの伝説や言い伝え、メルヒェンでは黒色は死や地下の世界の色である。人間の魂、死霊や悪霊は黒い動物の姿で現れる。悪魔や魔女が

黒いむく犬や黒猫に姿を変えることがよく見られる。古代では冥界の闇を表すと同時に、黒い服は昔から悪魔の服ともされている。民俗の風習では熊や豚や猫のような動物はしばしば妖怪として扱われ、悪魔に近いものとされ、やはり黒色で出現する。黒糸のついた縫い針を見出すことは死の前兆でもある。子供が黒い胸当てをしていたり、母親が子供を黒色のマントに包むとその子には死が待っており、不幸になるとも伝えられている。また、花嫁も不幸にならないためには決して黒い服を着てはならないとの言い伝えもある。顔を黒くすることは、死の軍勢に引き渡す最も簡単で、同時に根源的な仮面である。子供の嫉の言葉に黒い男 (der schwarze Mann) が引き合いに出される (wenn ihr nicht artig seid, kommt der schwarze Mann!)。他の色彩との合成語として黒色とほぼ同意に濃紺 (schwarzblau) や濃い茶色 (schwarzbraun) も用いられている。ただし、Schwarzfuchs は黒い狐ではなく、栗毛の馬を指している。

KHM においても黒色はネガティブな意味合いを持つことが多く、黒い男、黒い女、黒い小人の登場は、主人公の進路を妨害する不吉な展開を予測させている。魔法や呪いにかかる黒い姿、黒い動物となり、それが解けると元の自然の姿に戻る。KHM 108『ハンスはりねずみぼうや (Hans mein Igel)』では、はりねずみの皮を焼かれた主人公は魔法がとけて黒い身体が白くなり、王子の姿に戻る描写が見受けられる (er

war schwarz wie gebrannt. ... da ward er weiß, und war ein schöner junger Herr)。
KHMにおける黒色の使用の主な例数を挙げると、黒い魔女や悪魔は4例、黒い小人2例、魔法や呪いによる黒い姿・動物5例、魔女や悪魔の手先の黒い動物4例、魔女や悪魔以外に主人公に危害を加える者5例、また、悪い心1例、喪を表す布や服4例、不吉を暗示する空・海・波が4例ある。また、黒い物、例えば小人からの贈り物の黒い石炭 (KHM 182) は、何の役にも立たない取るに足らない物の意味としても使

[KHMにおける黒色]

身体=黒い男、緑の男、血のように赤い男 KHM 43: einen schwarzen Mann

身体=黒い奴(牧師) KHM 61: den schwarzen Kerl

身体=鎖で繋がれた12人の黒い男たち KHM 92: zwölf schwarze Männer

身体=焼けた炭のように黒いハンス、白く戻るハンスの身体 KHM 108: kohlschwarz wie gebrannt

身体=魔法にかけられた黒い若い女性 KHM 121: aber sie war ganz schwarz

身体=夜のように黒い母と娘、炭のように黒い母と娘 KHM 135: sie sollten schwarz werden wie die Nacht; sie beide waren kohlschwarz und häßlich

身体(悪魔)=火の上の黒い小さな悪魔 KHM 189: ein kleiner schwarzer Teufel

身体(悪魔)=黒い悪魔 KHM 195: der Schwarze

身体(子供)=雪のように白く血のように赤く黒檀のように黒い子供 KHM 53: so schwarz wie Ebenholz

身体(小人)=黒い小人 KHM 92: ein kleines schwarzes Männchen

身体(小人)=パイプの煙で現れる黒い小人 KHM 116: ein kleines schwarzes Männchen

身体(炭焼き)=黒く汚れた炭焼き KHM 54: einen schwarz bestaubten Köhler; du Schwarzam- sel

身体(魔女)=黒い魔女(黒い花嫁) KHM 135: die schwarze Hexe

身体の一部(顔・手)=身分を隠すために煤で黒くした姫の顔と手 KHM 65: sich Gesicht und Hände mit Ruß schwarz machen

身体の一部(髪)=ヒメウイキョウと塩(ゴマ塩)の布のような黒と白の髪色 KHM 114: es wird schwarz und weiß sein

身体の一部(髪)=妻の長い黒い髪 KHM 181: dein langes schwarzes Haar

身体の一部(口)=炭焼きの黒い口 KHM 54: schob in sein schwarzes Maul hinein

身体の一部(手)=石炭で黒く汚れた手 KHM 182: mit der schwarzbestäubten Hand

心=顔は白いが心の黒い娘 KHM 21: garstig und schwarz von Herzen

動物(犬)=鎖に繋がれた多くの黒い犬 KHM 4: da kamen schwarze Hunde

われている。その他、地獄の門・地中・小人の持ち物・盗賊の机・殺害された子供を煮たスープなども黒色で表現されている。一方、ポジティブな意味では、女性の美を表す黒髪が2例、豪華な家具に使われる黒檀が2例、民俗的風習である身分を隠すための黒い煤が1例ある。黒色を例えるために形容する語は、「炭のように黒い」2例、「夜のように黒い」1例、「瀝青・ピッチのように黒い」1例のみである。

黒色の表現を項目別に分類して以下に示す。

- 動物 (犬・王子) = 黒い犬 (王子) KHM 96 : *der schwarze Hund*
動物 (犬・男) = 黒いムク犬になる罰を受ける料理人 KHM 76 : *ein schwarzer Pudelhund*
動物 (牛) = 親指小僧を呑み込む大きな黒い牝牛 KHM 45 : *eine große schwarze (Kuh); in der schwarzen*
動物 (牛・魔法使い) = 黒い雄牛 (魔法使い) KHM 163 : *einen großen schwarzen Stier*
動物 (馬・馬車) = 4頭の白い・赤い・黒い牝馬と馬車 KHM 93 : *mit vier schwarzen (Hengsten)*
動物 (熊・王子) = 太い黒い頭の熊 (王子) KHM 161 : *seinen dicken schwarzen Kopf*
動物 (猫) = 白い足以外真黒な猫の子 KHM 2 : *das Kind ist ganz schwarz*
動物 (猫) = 鎖に繋がれた多くの黒猫 KHM 4 : *da kamen schwarze Katzen*
動物の足 (狼) = 狼の黒い足 KHM 5 : *an seinen schwarzen Füßen erkennen*
鳥 (烏) = 炭のように黒い7羽の烏 KHM 25 : *sieben kohlschwarzen Raben*
布 = 城の中の全てを覆う黒い布 KHM 137 : *worin alle schwarz behängen waren*
布 (喪の布) = 黒い喪のべール KHM 60 : *mit schwarzem Flor*
服 = 黒い服の花嫁 KHM 101 : *sich schwarz kleiden*
服 = 黒い服で白い顔の姫 KHM 137 : *schwarz ankleiden*
服 (法衣) = 長い黒い法衣, 灰色の付けひげ KHM 192 : *ein langes schwarzes Gewand*
縫目 = 豆の黒い縫目 KHM 18 : *schwarzen Zwirn; eine schwarze Naht*
糸 = 黒糸・黒い縫目 KHM 18 : *schwarzen Zwirn; eine schwarze Naht*
空 = 黒い空, 教会の塔や山のような黒い大波, 白い泡の冠 KHM 19 : *der Himmel war ganz pechschwarz*
海 = 黒く濼んだ海 KHM 19 : *da war die See noch ganz schwarz*
波 = 黒い空, 教会の塔や山のような黒い大波, 白い泡の冠 KHM 19 : *die See ging in so hohe schwarze Berge*
雲 = 月を覆う黒い雲 KHM 179 : *von einer schwarzen Wolke bedeckt*
雲 (鳥) = 黒い雲のように飛び立つ鳥 KHM 171 : *als wenn eine schwarze Wolke dahinzöge*
パン = 黒パンの皮 KHM 68 : *Schwarzbrot schneiden*
スープ = 男の子を煮た黒いスープの入った皿 KHM 47 : *eine Schüssel mit Schwarzsuppe*
黒檀 = 黒檀の寝台に金の刺繍入りの掛け布団 KHM 39 : *Bett von schwarzem Ebenholz*
石炭 = ポケットの中の黒い石炭 KHM 182 : *schwarze Kohlen*
机 = 盗賊の家の黒いテーブル KHM 166 : *ein schwarzer Tisch*
土 = 黒い地中 KHM 53 : *in die schwarze Erde*
門 (地獄) = 地獄への大きな黒い門 KHM 81 : *zu einem großen schwarzen Tor*
槍 (小人) = 黒い槍を持った小人 KHM 28 : *einen schwarzen Spieß in der Hand*
鎧兜 = 黒い鎧兜 KHM 136 : *eine schwarze Rüstung*

3. 白色 (Weiß, weiß)

白色はあらゆる色を含んでおり, 光をほぼ, または完全に反射させ, 最も暗い黒色と対比さ

れる最も明るい色味を持たない色調である。完全な白色は黒色と同様に実際には存在しない。黒色が夜の闇を示すこととは対照的に白色は昼を表すことが多い。視覚的には, 雪のように白

い (weiß wie Schnee), チョークのように白い (weiß wie Kreide) などは好まれている表現である (ホワイトクリスマス=weiße Weihnachten; 白髪になる=weiß werden; 白色人種=die weiße Rasse)。また白色は、顔色の悪い、あるいは蒼白な様 (weiß vor Wut; weiß im Gesicht werden) にも用いられる一方で、多くの場合、純潔や潔白・無実などの象徴として (ein weißes Taufkleid; 嫌疑をはらす=weiß waschen) 頻繁に用いられている。他の色彩との合成語としては、weißblond, weißgelb, weißgrau がある。白色には新しいものの生成、生まれ変わりの意味も込められており、生成や再生・成長、鳩や蛇などの神聖な動物と深い関係がある。

民俗上では、白色は霊的で完全なものであり、至高の神を表す。祭司や修道士の衣服には、白色、黒色もあるが、礼拝式では白色が黒色より優勢である。多くの民族においても宗教儀式の際の服装は白色であり、地域によっては予言女は白い装束を着ている。また、白色は清純性や処女性・貞淑の象徴とされている。卑しい心、死者の霊が白色に近づけば近づくほど浄罪火からの救済に近づくことされ、キリスト教では世の光としての主キリストを表し、啓示、真理、昇天を表す。白色は純潔の色であることから、以前は、巡礼の際の白い衣服は厳格な誓約を意味していた。白色は魔法や呪にかからない色と信じられ、種まきの際には白い衣装が使われている。初聖体を拝領する子供は白い装いで、その日は「白い日曜日」と呼ばれている。また、祝祭や葬儀の行列でも少女や若い女性は白い服を着る。心理学的には白色と黒色は光と闇のみならず全ての色への対照色として神秘的で霊的な現象に与えられた色である。一方では、白色は死の色、亡霊の色でもあり、白い服を着た女 (weiße Frau) は多くの場合、霊・死人の霊にほかならない。

KHM における白色はほとんどの場合ポジ

ティブな意味合いを持っている。白い姿の者、白い動物の登場した時点ですでに、主人公の救済が予感され、期待されるのである。また、白い装い、ならびに白い顔の主人公の女性は、視覚的な白さよりもむしろ純真で純潔であることを強く暗示している。天使3例、水の精1例、幽霊1例、魔術からの開放の布2例、魔術を持つ布3例、骨2例も白色で表されている。神話や伝説や民話でも骨にはその人の力や魂がこもると考えられており、その民俗的特色は、KHM 28『歌う骨 (Der singende Knochen)』の中で白い骨が殺人者の名を歌で伝える描写にも伺える。「白い髪・ひげ」の老人は4例あるが、多くの日本語訳では「白い」と訳されている灰色の髪やひげ (第2報) は、原文では話の中のその人の立場や役割によって使い分けがなされており、微妙なニュアンスの違いが伝わってくる。白い動物・羽・花の出現は非常に多く、24例に及んでおり、これらの事象の登場することによって苦境や困難な状況に直面している主人公の救済や援助が約束されていると言っても過言ではない (蛇・猫・鹿各1例、鴨・鶯鳥・鳥・花各2例、馬3例、羽4例、鳩6例)。なお、色彩語を使わずに同意の語が、Schwäne (白鳥) 1例、Schimmel (白馬) 4例みられる。また、誠意を持って家事を行う様は、白いテーブルクロス2例、白い敷布4例で表されている。女性の従順さや純潔は白色で特色付けられている (4例)。白い死衣や死体を巻く白い布などにも5例ある。白色がネガティブに使われているのは、「白い盗賊」「疲労のため蒼白な顔」不吉な「白い波立ち」「白い霧」の4例のみである。白色を例えるために形容する語は、「闇のように黒い」に対して明るさを表現する「昼間のように美しく白い (weiß und schön wie der <helle> Tag)」2例、「チョークのように白い (kreide-weiß)」 「霧のように白い (wie ein weißer Nebel)」が各1例で、16例では「雪のように白

い」(weiß wie Schnee; schneeweiß)と表現されており、白を形容するための最も理解されやすい例えは「雪」が圧倒的に多い。その内、主人公の名前にも雪の白色が付記されているのが

[KHM における白色]

身体=昼間のように白い娘 KHM 135: als bald war sie *weiß* und schön wie der Tag

身体=焼けた炭のように黒いハンス、白く戻るハンスの身体 KHM 108: balsamierte ihn, da ward er *weiß*

身体=白い足, 白い指, 雪のように白い全身 KHM 121: ihre Füße *weiß* geworden; bis zur Fingerspitzen *weiß* geworden; *schneeweiß* und schön wie der helle Tag

身体(天使)=雪のように白い若い女性 KHM 31: kam eine *schneeweiße* Jungfrau

身体(子供)=血のように赤く雪のように白い男の子 KHM 47: hätte ich ein Kind so *weiß* wie Schnee

身体(子供)=雪のように白く血のように赤く黒檀のように黒い子供 KHM 53: bekam sie ein Kind, so *weiß* wie Schnee; das Schneewittchen (*Schneeweißchen*) genannt

身体の一部(顔)=顔は白いが心の黒い娘 KHM 21: die schön und *weiß* von Angesicht waren

身体の一部(顔)=驚きでチョークのように白い顔の盗賊 KHM 40: bei der Erzählung ganz *kreideweiß* geworden

身体の一部(顔)=疲労した仕立屋の蒼白な頬と赤い目 KHM 107: die Backen waren ihm *weiß*

身体の一部(顔)=黒い服で白い顔の姫 KHM 137: ein wenig *weiß* im Gesicht haben

身体の一部(顔)=雪のように白くリンゴの花のように赤い顔の姫 KHM 179: sie war so *weiß* wie Schnee

身体の一部(指)=煤を塗り忘れて白い部分が残る姫の指 KHM 65: ein Finger blieb *weiß*

身体の一部(ひげ・老人)=長い白いひげの老人 KHM 4: hatte einen langen *weißen* Bart

身体の一部(ひげ・老人)=氷のような灰色の老人, 床まで達する老人の白いひげ KHM 169: sein *weißer* Bart floß über den Tisch herab

身体の一部(髪・老婆)=白い髪の老婆 KHM 181: saß eine Alte mit *weißen* Haaren

身体の一部(髪)=ヒメウイキョウトと塩(ゴマ塩)の布のような黒と白の髪色 KHM 114: schwarz und *weiß* sein, wie Tuch das man Kümmel und Salz nennt

骨=雪のように白い小さな骨片 KHM 28: sah ein *schneeweißes* Knöchlein liegen

骨=並べられた死者の綺麗な白い骨 KHM 81: nahm er das schöne *weiße* Gebein heraus

動物の首(猫)=首の周りに白い輪のある猫の子 KHM 2: einen *weißen* Ring um den Hals haben

動物の足(猫)=白い足以外真黒な猫の子 KHM 2: hat bloß *weiße* Pfoten, sonst kein *weißes* Haar am ganzen Leib

動物の足(狼)=粉で白くした狼の足 KHM 5: streu mir *weißes* Mehl auf meine Pfote

動物の手(熊)=白い手袋の熊 KHM 101: der hatte *weiße* Handschuhe

動物(蛇)=食卓に出された白い蛇 KHM 17: eine *weiße* Schlange lag darin

動物(鼠)=白い鼠 KHM 118: die *weißen* Mäuschen

「白雪姫」「雪白ちゃん」(*Schneeweißchen*)の2例である。

白色の表現を項目別に分類して以下に示す。

- 動物 (猫) = 白に茶色の斑点のある猫の子 KHM 2 : *weiß mit braunen Flecken*
- 動物 (猫) = 白い猫 KHM 15 : *ich seh nach meinem weißen Kätzchen*
- 動物 (鹿) = 雪のように白い雄鹿 KHM 60 : *eine schneeweiße Hirschkuh*
- 動物 (馬) = 頭に白いダチョウの羽をつけた 8 頭の白い馬 KHM 1 : *mit acht weißen Pferden gespannt*
- 動物 (馬) = 2 頭の白い馬に引かれた樽 KHM 89 : *zwei weiße Pferde müssen vorgespannt werden*
- 動物 (馬と馬車) = 4 頭の白い・赤い・黒い牝馬と馬車 KHM 93 : *mit vier weißen Hengsten gespannt*
- 鳥 (鳩) = 雪のように白い 2 羽の鳩 KHM 33 : *zwei schneeweiße Tauben*
- 鳥 (鳩) = 白い鳩の姿の 2 人の天使 KHM 76 : *in Gestalt von weißen Tauben*
- 鳥 (鳩) = 白い鳩 KHM 88 : *eine weiße Taube*
- 鳥 (鳩) = 金の鍵を啜えた白い小鳩 KHM 123 : *kam ein weiß Täubchen zu ihm geflogen*
- 鳥 (鳩) = 白い小鳩 KHM 161 : *auf einer Stange saß ein weißes Täubchen*
- 鳥 (鴨) = 白い鴨, 白い鴨の背中 KHM 15 : *da schwimmt eine weiße Ente; nimmt uns auf deinem weißen Rücken*
- 鳥 (鴨) = 雪のように白い鴨 KHM 135 : *stieg eine schneeweiße Ente hervor*
- 鳥 (鶩鳥) = 白い素敵な鶩鳥, 白い鶩鳥の素敵な羽 KHM 83 : *eine schöne weiße Gans; die weißen schönen Federn*
- 鳥 (鶩鳥) = (雪のように) 白い鶩鳥 KHM 179 : *die weißen Gänse; die schneeweissen Gänse*
- 鳥 = 雪のように白い綺麗な小鳥 KHM 15 : *ein schönes schneeweißes Vöglein*
- 鳥 = 望みの品を与える白い小鳥 KHM 21 : *allemaal kam ein weißes Vöglein auf den Baum*
- 鳥 = 手助けする白い小鳩 KHM 21 : *kamen zwei weiße Täubchen herein*
- 羽 = 頭に白いダチョウの羽をつけた 8 頭の白い馬 KHM 1 : *die hatten weiße Straußfedern auf dem Kopf*
- 羽 = 道案内する 1 滴の赤い血, 1 枚の白い羽 KHM 88 : *will ich eine weiße Feder fallen lassen*
- 羽 = 山のように積まれた雪のように白い羽 KHM 186 : *lagen große schneeweiße Haufen aufgetürmt*
- 羽 = 王子の帽子の白い羽 KHM 188 : *die weißen Federn an seinem Hut*
- 花 (百合) = 12 本の白い百合の花 KHM 9 : *die zwölf weißen Blumen*
- 花 (バラ) = 庭に咲く白いバラと赤いバラ KHM 161 : *davon trug das eine weiße Rosen*
- 花 (バラ) = 雪白の名の子, バラ紅の名の子 KHM 161 : *das eine hieß Schneeweißchen*
- リング = 片側が赤く片側が白い頬をしたリング KHM 53 : *den weißen will ich essen*
- 服 (前掛け) = 白い前掛け姿の料理人 KHM 76 : *mit der weißen Schürze*
- 服 (死衣) = 白い死衣で現れる棺の子供 KHM 109 : *kam es mit seinem weißen Totenhemdchen*
- 服 (死衣) = 雪のように白い装いで現れる死んだ子供 KHM 154 : *ein schneeweiß gekleidetes Kindlein*
- 服 (作業着) = 白い作業着の男 KHM 100 : *einen gemeinen Kerl im weißen Kittel heiraten*

- 服 (絹の肌着) = 白い絹の魔法の肌着 KHM 49 : machte sie kleine *weißseidene* Hemdchen
服 (身体) = 白い身体の水の精 KHM 181 : ihre langen Haare bedeckten ihren *weißen* Leib
服 = 白い装いの寺の番人 KHM 4 : er sah eine *weiße* Gestalt stehen
服 = 雪のように白い服の人, 白い服の天使 KHM 31 : kam jemand in *schneeweißem* Kleide von Himmel ; der Engel im *weißen* Kleid
服 = 白い服の姫 KHM 108 : da zog sie sich *weiß* an
服 = 白い騎士の装い KHM 136 : ihn als *weißen* Ritter ausgerüstet
服 = 白い装いの美しい子供 KHM 161 : ein schönes Kind in einem *weißen* glänzenden Kleidchen
布 = 墓を覆う雪の白い布 KHM 21 : deckte der Schnee ein *weißes* Tüchlein auf das Grab
布 = 死体を隠すために巻く白い布 KHM 47 : ein *weißes* Tuch
布 = 白い布の掛かった机 KHM 53 : da standen *weißgedecktes* Tischlein
布 = 白い布を掛けた机 KHM 130 : ein Tischlein mit einem *weißen* Tüchlein gedeckt
布 = 魔法を解く白い布 KHM 56 : wirf schnell ein *weißes* Tuch darüber
布 = 3 滴の老母の血の滲みた白い小布 KHM 89 : hielt sie ein *weißes* Läppchen unter
布 = 美しい白い麻の布 KHM 94 : ein schönes *weißes* Linnentuch
布 = 土の小人を呼び出す白い布 KHM 113 : nimmt sie ihr *weißes* Tuch
布 = 免罪を知らせる白い布 KHM 120 : winkte einer mit einem *weißen* Tucho
布 = 3 枚の小さな白い麻の布 KHM 193 : sah er an dem Ufer drei Stückchen *weiße* Leinewand liegen
布 (敷布) = ベットを白く綺麗に整える敷布 KHM 9 : hielt die Bettlein hübsch *weiß* und rein
布 (敷布) = ベットの白い敷布 KHM 15 : zwei schöne Bettlein *weiß* gedeckt
布 (敷布) = 雪のように白い敷布のベット KHM 53 : *schneeweiße* Laken darüber gedeckt
布 (敷布) = ベットの白い敷布 KHM 169 : deckte sie mit *weißem* Linnen
布 (旗) = 男児の誕生を知らせる白い旗 KHM 9 : eine *weiße* Fahne aufstecken
布 (死体) = 布を巻かれた死体の白い姿 KHM 47 : sitzt ganz *weiß*
靴下 = 白い靴下に滲む真っ赤な血 KHM 21 : an den *weißen* Strümpfen ganz rot heraufgestiegen
紙 = 白い紙 KHM 152 : gebt mir einen großen Bogen *weiß* Papier
雪 = 白い雪に落ちる赤い血 KHM 53 : weil das Rote im *weißen* Schnee so schön aussah
霧 = 白い霧のように立ち昇る水 KHM 193 : stieg das Wasser wie ein *weißer* Nebel in die Höhe
泡 = 黒い空, 教会の塔や山のような黒い大波, 白い泡の冠 KHM 19 : eine *weiße* Krone
パン = 白パン KHM 84 : holte er eine gute Menge *Weißbrot*
パン = 白パン KHM 123 : *Weißbrot* zum Einbrocken
ワイン = 白と赤と黄色のワイン KHM 40 : ein Glas *weißen* ; ein Glas *weißen* Wein
建物 = ミツバチが建てた雪のように白い建物 KHM 107 : das Gebäude war zart und *schneeweiß*
砂利 = 白い砂利 KHM 15 : die *weißen* Kieselsteine glänzten wie lauter Batzen
棒 = ゴールの目印の白い棒 KHM 193 : steckte einen *weißen* Stab in die Erde

参考文献

- Brüder Grimm (1983) Kinder- und Hausmärchen.
Winkler Verlag, München
- グリム兄弟, 高橋健二訳 (1976) グリム童話全集全
3巻. 小学館, 東京
- 満足忍 (2009) グリメルヒェンにおける色彩語の
表現(1), (2). 日本大学歯学部紀要第 37, 81-100,
日本大学歯学部
- Gerhard Wahrig, Hildegard Krämer, Harald
Zimmermann (1983) BROCKHAUS WAH-
RIG Deutsches Wörterbuch. Bd.5. Deutsche
Verlags-Anstalt, Stuttgart
- Gerhard Wahrig, Hildegard Krämer, Harald
Zimmermann (1984) BROCKHAUS WAH-
RIG Deutsches Wörterbuch. Bd.6. Deutsche
Verlags-Anstalt, Stuttgart
- Richard Beitzl, Klaus Beitzl (1974) Wörterbuch der
deutschen Volkskunde. Alfred Kröner Ver-
lag, Stuttgart
- Grosses Deutsch-Japanisches Wörterbuch (1985,
1998) 独和大辞典第 2 版. 小学館, 東京
- 谷口幸男, 福嶋正純, 福居和彦 (1985) 図説ドイツ
民俗学小辞典. 同学社, 東京
- 宮田登, 深沢俊 (1989) 日欧対照イメージ事典, 北
星堂書店, 東京